

第1章 計画の策定に当たって

1 策定の背景・目的

長野市では、平成9年3月に長野市環境基本条例を制定し、平成12年3月に長野市環境基本計画を策定するとともに、平成24年4月に第二次長野市環境基本計画を策定し、環境保全に関する各種施策を展開してきました。

第二次長野市環境基本計画策定後、生物多様性の保全や地球温暖化防止、エネルギー問題等に積極的に取り組み、同計画の施策は順調に推進されているものの、その目標に未だ至っていないものも散見されます。また、国としても地球温暖化に対する適応策の推進など、新たな計画を策定しております。

このような状況を踏まえ、同計画を継続的に進めるとともに、長野市が目指す「環境像」や「基本目標」を継承し、環境の保全及び創出に関する新たな施策の導入と目標値の見直しを行い、総合的かつ長期的な施策の大綱と環境への配慮の指針として、第二次長野市環境基本計画後期計画を策定しました。

2 計画の目的及び位置付け

第二次長野市環境基本計画後期計画は、長野市環境基本条例に基づく環境行政の基本計画として、第五次長野市総合計画と整合を図り、環境施策を総合的かつ計画的に推進することにより、本市の望ましい環境像の実現を目指すものです。

したがって、本市が環境に関わる側面を持つ各種個別計画を策定する際は、本計画との整合を図る必要があり、環境の保全と創造に関する又は環境に影響を及ぼすおそれのある施策・事業は、この計画に従って実施する必要があります。

本計画では、市民・事業者・行政の協働による、良好な環境の保全と創造を実現するための方策として、市民・事業者の取組の指針及び市の取組（施策）を示しています。

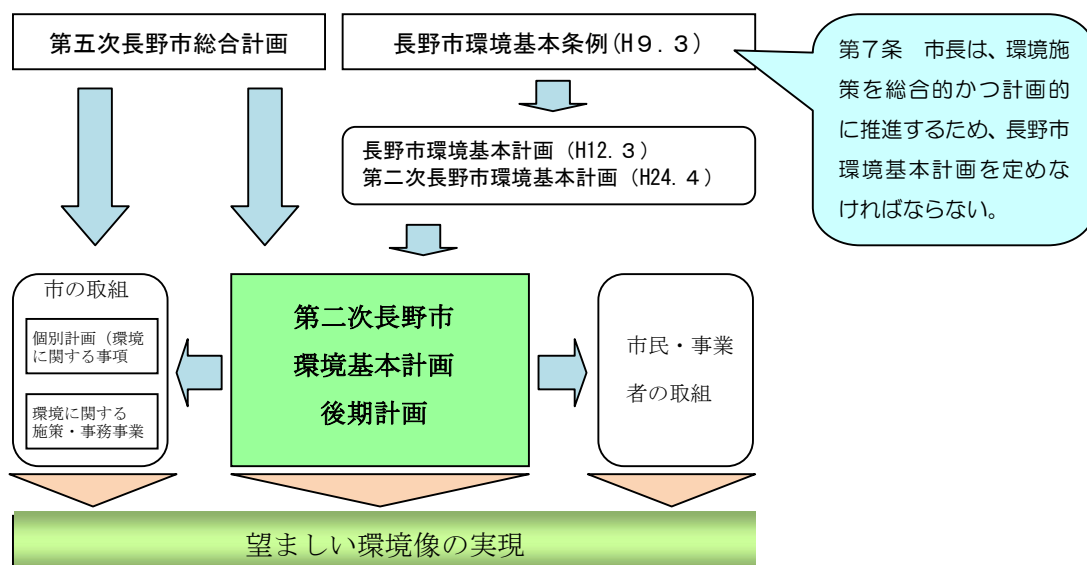


図 1-1 第二次長野市環境基本計画後期計画の位置付け

■ 上位計画

市 政 全 般

◎第五次長野市総合計画 計画期間：H29～H39

整合



第二次長野市 環境基本計画 後期計画

継承
見直し

環 境

◎第二次長野市環境基本計画
(H24. 4 策定) 計画期間：H24～H28

整合



■ 関連計画

農 林 業

◎長野市農業振興計画（仮）

計画期間：H29～H33

◎長野市森林整備計画

計画期間：H27～H36

まちづくり

◎長野市都市計画マスタープラン

計画期間：H18～H38

◎長野市景観計画

H20. 1 策定

◎長野市歴史的風致維持向上計画

計画期間：H25～H34

廃 棄 物

◎長野市一般廃棄物処理基本計画

計画期間：H29～H33

み ど り

◎長野市緑を豊かにする計画
(長野市緑の基本計画)

計画期間：H21～H38

温暖化対策

◎長野市地球温暖化対策地域推進計画

計画期間：H29～H62

◎第五次長野市役所温暖化防止実行計画

計画期間：H29～H33

◎長野市バイオマスタウン構想

H22. 3 策定

そ の 他

◎第二次長野市やまざと振興計画（仮）

計画期間：H29～H33

◎長野市水道ビジョン

計画期間：H26～H35

◎長野市下水道 10 年ビジョン

計画期間：H23～H32

◎第二次長野市生涯学習推進計画

計画期間：H29～H33

■ 参考計画等

◎長野市地域防災計画・長野市水防計画

計画内容は必要に応じて見直し

◎長野市第三次住宅マスタープラン

計画期間：H29～H38

◎長野市商工業振興・雇用促進計画（仮）

計画期間：H29～H33

◎第三期長野市都市内分権推進計画

計画期間：H27～H31

◎長野市過疎地域自立促進計画

計画期間：H28～H32

◎次期長野市観光振興計画（仮）

計画期間：H29～H33

図 1-2 個別計画との関連図

3 計画期間

計画の期間は、平成29年度から平成33年度までの5年間とします。

4 計画対象

(1) 計画の対象地域

本計画で対象とする地域は、長野市全域とします。

(2) 対象とする環境の範囲

本計画で対象とする環境の範囲は、下表のとおりとします。

表 1-1 第二次長野市環境基本計画後期計画において対象とする「環境」の範囲

- 日々の生活の快適性に関わる大気、水質、土壌、騒音・振動、悪臭、廃棄物の状況、資源・エネルギーの有効利用などに関すること。
- 緑や水辺、そこに生息する動植物を含めた自然環境の保全と生物の多様性の確保に関すること。
- 都市景観、公園、交通及び施設に関すること並びに歴史的伝統的資源を中心とした環境に関すること。
- 地球温暖化の防止や適応、オゾン層の保護など、地球環境に関すること。

参考

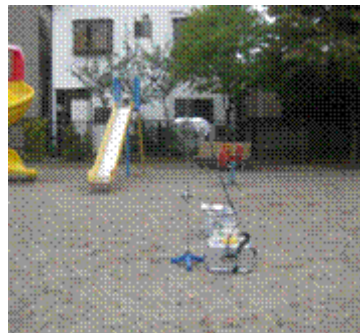
コラム：長野市の空間放射線量測定

原発事故に対する市民の不安解消や状況の変化への対応のため、空間放射線簡易測定器を導入し、市内各地の空間放射線量を測定しています。

調査は、市内全域を網羅した73地点（学校、保育園、公園、その他市施設など）で実施したほか、3定点で月1回、1定点で週1回継続して測定しています。

各地点の測定結果は、市のホームページ等で公表しています。

（調査地点数、頻度は平成28年3月末のものです）

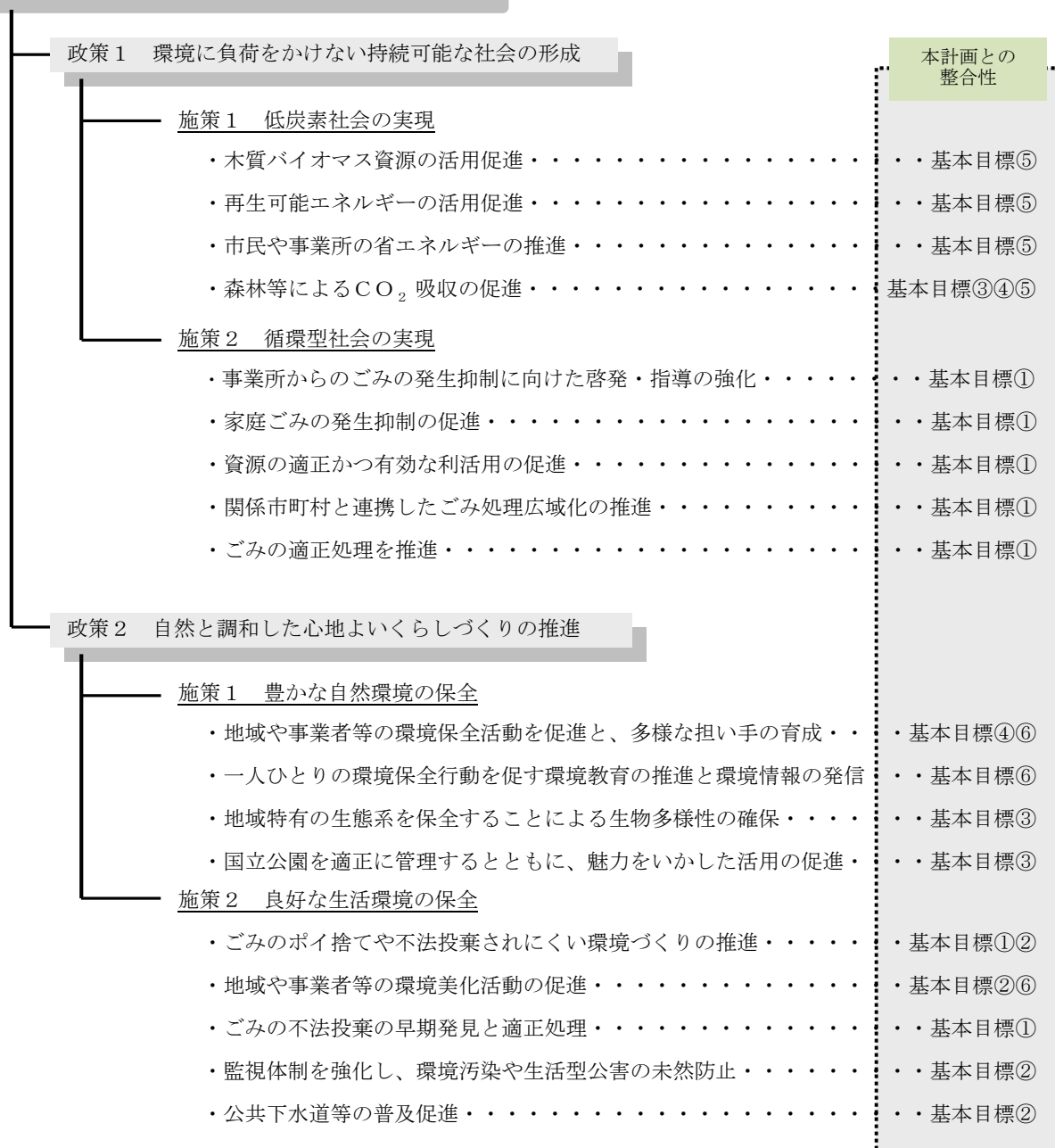


5 計画の見直し方針

本計画は、基本的に第二次長野市環境基本計画の内容を継承しています。そのうえで、上位計画である第五次長野市総合計画との整合を図りつつ、本市を取り巻く様々な状況の変化に対応する必要があるため、次のとおり計画全体を見直しました。

(1) 第五次長野市総合計画における環境分野の体系

目指すまちのすがた：人と自然が共生するまち



(2) 第二次長野市環境基本計画からの見直し

- ① 第二次長野市環境基本計画の進捗状況と評価を反映し、市を取り巻く環境問題や社会情勢の変化などに対応するとともに、市民・事業者が各種環境活動を実施しやすいよう、要点を集約し、市民・事業者・市の行動指針となる今後の環境行政のマスタープランとします。
- ② 計画の効果的な推進のための枠組みとして、進捗状況をできる限り具体的な数値で明らかにするため、指標・目標などを設定します。
- ③ 地域別の環境配慮指針については、地域別ではなく、より環境面に影響が大きく、配慮が必要と思われる土地利用別に課題、指針等を設定します。
- ④ 国際社会の動向、国・県の施策、「第五次長野市総合計画」及びその他の計画を十分考慮したものとする。特に、第五次長野市総合計画の策定作業と連携をとり、施策や指標項目（目標値）等について共通化するなど整合を図ります。

